

各 位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
 (JASDAQ・コード3174)
 代表者名 代表取締役社長 田 泰夫
 問合せ先 取締役経営企画室長 追川正義
 電話番号 03-3562-7525

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 10 月 14 日に公表した平成 29 年 8 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間の業績予想の修正について（平成 28 年 9 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,637	百万円 268	百万円 250	百万円 153	円 銭 60.41
今回修正予想 (B)	10,042	392	380	190	75.02
増減額 (B-A)	405	124	130	37	
増減率 (%)	4.2	46.2	52.0	24.1	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 8 月期第 2 四半期)	9,170	236	219	85	33.80

2. 第 2 四半期累計期間の業績予想の修正の理由

平成 29 年 8 月期第 2 四半期累計期間においては、売上高が年末年始商戦を初めとして好調に推移しており、当初予想を上回る見通しです。これまで、個人消費の低迷を受けて、商品施策として、値ごろ感のある価格帯の商品や人気商品の拡充を図るとともに、店舗施策として、商品施策の変更に連動した店舗の改装、好区画への店舗移転、新規出店の厳選化等を推進してまいりました。これら施策の成果が売上高の好調の主な要因であります。

営業利益、経常利益及び四半期純利益につきましては、売上高が好調であることに加え、前期末において、不振店を精査し、閉店及び設備の減損処理を進めた結果、販売費及び一般管理費及び特別損失の縮減につながり、各利益において当初予想を上回る見通しです。

以上の理由から、第 2 四半期累計期間における売上高、利益の予想を上方に修正いたします。

なお、平成 29 年 8 月期通期業績予想につきましては、景気見通し、金融・為替市場の動向等に不透明感が増し、個人消費を下押しする懸念を払拭出来ない状況にあること等から据え置くこととし、今後の市況や業績動向を踏まえ修正が必要と判断される場合には、速やかに開示いたします。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、これら予想数値とは異なる可能性があります。

以 上